

海と山がある暮らし、三浦半島へ。

MIULIKE

特集 津久井浜駅

風をよみ、風で走る、ウインドサーフィンの見どころガイド

VOL.

19

OCT.2022



KEIKYU

京急電鉄

津久井浜の風で海を走る

ウインドサーファーたちの世界をのぞいてみると、



WINDSURFING at TSUKUIHAMA

Ride The Wind

風をよみ、風で走る、ウインドサーフィンの見どころガイド





いつもの海の光景がカラフルに、
少しまぶしく感じられるかも？

津久井浜の海に行くと、カラフルなセール(帆)が浮いている。操るのはウインドサーファー。レジャーとしてのフリーライドを楽しむ人や技を磨くプロの選手たちが、風を分け合いながら海上を走っているのだ。

風が動力となるウインドサーフィンにとって、岸に対して横向きの風が吹く津久井浜は絶好のグレンデ(海)なのだとか。なかでも南風が北風に変わる秋はベストコンディションの季節。11月には、「ANA ウインドサーフィンワールドカップ横須賀・三浦大会」が3年ぶ

りに開催されることになり、街は今、世界各国のトップ選手たちを迎える準備で忙しい。

荒波や強風、あるいはなかなか風が吹いてくれない日もある。ウインドサーフィンには、グレンデのコンディションを克服しようとするウインドサーファーたちの好奇心や道具の進化によって生み出されてきたさまざまな種目がある。ワールドカップが開催されるこの秋、それらの見どころを学び、遠くから眺めていたウインドサーフィンのことをもっと近くで楽しんでみませんか？



三浦 COCOON

では、スピンオフ記事を公開中！

三浦 COCOONとは？

三浦半島の新しい過ごし方を提案する総合情報サイト。企画きっぷもお得に買えちゃいます♪



プロ選手に聞く

ウィンドサーフィンの競技の見どころ

パフォーマンス系といえば「フリースタイル」と「ウェイブ」、レース系では「フォイルフォーミュラ」と今回のワールドカップ種目「スラローム」。それぞれの種目の特徴と注目ポイントを、ベテランプロウィンドサーファーの國枝信哉選手が解説します！

ウィンドサーフィンとは？

サーフィンとヨットが融合したウォータースポーツ。セールが受ける風を動力にして走るため、サーフィンよりも体に負担がなく、子どもから高齢者までたのしめる生涯スポーツとして親しまれている。一方、競技としてはレース種目にはじまり、ジャンプなどのパフォーマンスも行うエクストリームスポーツとして発展中。同時に道具も進化中だ。



國枝信哉 (くにえだしんや)

1970年東京都生まれ。競技歴は約25年。プロ選手として活動するほか、「TEARS」(P08)の店長、日本ウィンドサーフィン協会の副理事長として後進の育成にも力を注ぐ。



Freestyle
フリースタイル

道具と体がひとつになった アクロバットパフォーマンス

ボードやセールを自由自在に操ったパフォーマンスを競う採点競技で、「海上のフィギュアスケート」の異名を持つ「フリースタイル」。強風かつ波がないコンディションで行われ、競技者はプレーニング*から空中で技を繰り広げる。セーリング、ループ(縦回転)やスピン(横回転)、ボードやセールの向き、競技者の体勢などのコンビネーションで300種類以上の技があるといわれている。パフォーマンスはビーチに近いエリアで披露されるため、アクロバティックな技の迫力を間近で感じることができる。

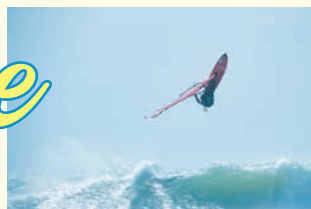
*滑走状態。スピードが出てボードが浮き上がると、水の抵抗が少なくなり、ボードが水面を滑るように走る。

風と波の力でより速く、 高く、そして美しく

荒波や強風になることが多いハワイ・オアフ島のゲレンデで生まれた「ウェイブ」。競技者はサーファーのように波に乗ってマニューバ（走行跡）を描き、波を使ってジャンプする。大きな波をとらえたウェイブランディングは、見ているだけでもスリル満点。波だけでなくセールが受ける風の力も使うため、ライディングにスピードがあり、ジャンプの高さは10mを超えることもあるという。ワンハンド、バックループ、ダブルトリプルループなど、パリエーションが豊富なジャンプの種類にも注目。フリースタイルと同じ採点競技で、パフォーマンスの完成度を競い、トーナメント方式で勝者が決まる。



Wave ウェイブ



Foil Formula フォイルフォーミュラ



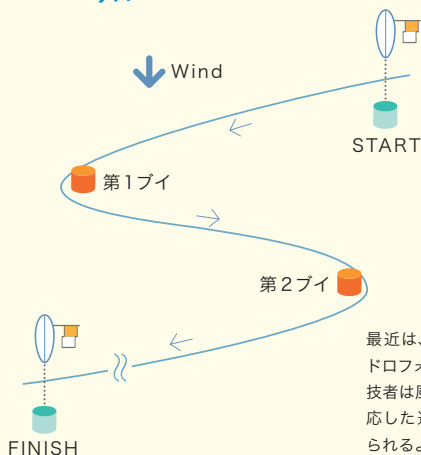
形も役割も飛行機の翼のようなハイドロfoil。

戦略を乗せたセールの 一斉スタートに注目!

弱風でも行うことができるコースレース種目が「フォイルフォーミュラ」。風を縦に使い、風上から風下へと走る。いわば陸上競技の中距離マラソンのような種目で、決められたコースをどう走るかは競技者次第。最初に飛ばすか、はたまたラストパートをかけるか。風の強さや向き、潮の流れも考える戦略的レースでもある。競技者が一斉にスタートする迫力のあるシーンも見逃せない。最近では、ボードにハイドロfoil（水中翼）を搭載することも。揚力でボードを浮かせるハイドロfoilによって、より風が弱いコンディションでもスピードのあるレースができるようになった。



スラローム



最近では、スラロームでもハイドロフォイルが使われる。競技者は風を読む力とそれに対応した道具を選ぶ力も求められるようになってきている。

今年のワールドカップ種目

シンプルかつ エキサイティングな スピードレース

「スラローム」は、風上から風下に向かって設置されたブイを回航するレースでもっともわかりやすい種目。競技者は時速50～60kmでプレーニング走行をする。ストレートコースを走る速さだけでなく、いかにスピードを落とさずにブイを回れるかも勝敗を握っている。「フォイルフォーミュラ」が中距離マラソンなら「スラローム」は短距離走。最初から最後までフルパワーで行われるレースには力があり、マーキングでの激しい攻防が見どころ。ワールドカップでは、8人のグループに分かれ上位4人の選手がトーナメント方式で勝ち上がっていく。



Fly! ANA Windsurfing World Cup YOKOSUKA MIURA Japan

ANA ウインドサーフィンワールドカップ横須賀・三浦大会

ウインドサーフィンワールドカップは、欧州を中心に約10カ国を転戦するワールドツアーで、PWA (Professional Windsurfers Association) 公認の世界最高峰の大会。アジアでは日本と韓国で開催され、日本は今回で4回目。津久井浜に約100人のトッププロが集結し、スラロームで競います！

■開催期間 / 11月11日(金)～15日(火) ■会場 / 津久井浜海岸 ■観覧料 / 無料 ■主催 / ANA ウインドサーフィンワールドカップ横須賀・三浦大会実行委員会 ■実行委員会 / 全日本空輸株式会社・京浜急行電鉄株式会社・一般社団法人日本ウインドサーフィン協会・神奈川県・横須賀市・三浦市 ■詳細 / <https://windsurfing-wc.jp> ■お問い合わせ / ANA ウインドサーフィンワールドカップ横須賀・三浦大会実行委員会事務局 046-822-9284 (横須賀市文化スポーツ観光部企画課内)



2019年開催時の様子。





すずきさとみ ● 1992年
愛知県生まれ。横浜市立
大学の部活でウインドサー
フィンに出会う。大学卒業
後、一般企業勤務を経て
「TEARS」に入社し、現在
はスタッフ兼選手として活
動中。今年の5月「第1回
横須賀・三浦フォイルスラ
ローム」で優勝。



PLAYER to WATCH

鈴木理美

自分の気持ちに寄り添い、つかんだ風

「ウインドサーフィンは見た目ほどむずかしいものではなく、大抵の人は2、3時間練習すれば自分が行きたいところまでセーリングできるようになります。ところが、私はそれがぜんぜんできなかったんですよ」と笑う、鈴木理美さん。

高校生まではピアノと吹奏楽に打ち込み、音大に進む道もあったというが、「音楽以外のこともやってみたい」という気持ちに従い、総合大学の横浜市立大学に進学。「せっかく海の近くにきたのだから」と、軽い気持ちで入部したのがウインドサーフィン部だった。

苦戦したセーリング。夢中になったのは、ブレーニング（滑走状態）の爽快感を知ってから。大学3年生までは全員が同じ道具を使うコースレースをやっていたが、自由度の高いスラロームに転向してからはますますのめり込んだ。

大学卒業後は一般企業に勤めるも、自分の居

場所とは思えなかったという。思い悩んでいたときにウインドサーフィンショップ「TEARS」がスタッフを募集していると聞き、海に戻った。「海の上に立つと、陸での喧噪^{けんそう}やしがらみを忘れ、のびのびしていただけるんです。『TEARS』ではスクールのインストラクターもしているのですが、みなさんの海から戻ってきたときのすっきりした顔を見るのがなによりうれしいです」

同時にアマチュア選手として競技を続けてきた鈴木さんは、実績を積み重ね、今年初めてワールドカップの出場権を得た。「自分の気持ちに耳を傾け続けてきたからこそつかめた風。みなさんの応援にこたえ、精一杯がんばってきます！」



Shop Guide

ウインドサーフィンをやってみたくになったら、
津久井浜のビーチ沿いにあるショップへGO!



ティアーズ TEARS

2001年4月、國枝さんが前店を引き継ぎリニューアルオープンしたショップ&スクール。経験豊富なインストラクターのほかプロ選手も多く所属し、初心者から競技者まで幅広いレベルに対応している。マリン用マイク&スピーカーを導入したレッスンが初心者に好評。

- ☎046-840-1273
- 📍横須賀市津久井1-3-8
- 🚶津久井浜駅から徒歩約6分
- 🕒10:00~19:00(休日は8:00から)
- 👤年中無休
- 🎓体験コース 6,600円ほか
- 🌐<https://www.tears-windsurfing.com>



上/イエローが目を引く看板が目印。2階や屋上は、インカレで活動する大学生がミーティングに使うことも。下・左/豊富なセールサイズとボードの種類。セールの大きさは体形やコンディションによって好みのものをセレクト。店員さんに相談しよう。下・右/店内はウインドサーファーたちの憩いの場にもなっている。



シャロウ リーフ ウィンドサーフ

SHALLOW REEF WINDSURF

開業約40年、世界各国のメーカーを取りそろえるショップ。ホームページでは、ビーチのフラッグを撮影したライブカメラで、風向きや風力などゲレンデのコンディションを確認できるのがうれしい。スクールに数回通って一定のレベルをクリアすると、クラブハウスのレンタル会員になれる。

- ☎046-849-2334
- 📍横須賀市津久井1-4-10
- 🚶津久井浜駅から徒歩約8分
- 🕒9:00~19:00
- 👤休 木曜日(夏季無休)
- 🎓1日スクール 7,700円ほか
- 🌐<https://shallowreef.jp>



上/ビギナーからプロまで、道具のメンテナンスにも対応してくれる。下/ビーチのフラッグは代表の浅葉浩さんが設置。GUN はシャロウリーフが輸入しているドイツのセールメーカー。